

今日の一言

キーワード：問題意識を高める5つの心得

1. 他人任せにせず、自分の事として取り組む

「だれかやってくれるだろう」の依頼心があるのは駄目。「問題をどこまで自らのこととして受けとるかの真剣さ」が肝要である。

2. 現状肯定から現状否定へ

人はともすれば「これでよい」「これ以上のことはむずかしい」と、安住を求め、現状を肯定しがちなものである。しかし、いかなる場合でも、これで完璧ということはありません。絶えず「これでいいのか」、「もっといいやり方はないか」の“現状否定の精神”ですべてに対処することだ。

3. 「目的は何か」を絶えず考える

われわれは往々にして、目的を考えないで手段に安住していることが多い。多くの企業でデータ収集・分析が行われ、目標・方針づくりの検討会が開かれるが、それが一向に改善に結びついていないことがある。絶えず目的に照らし合わせながら、どうしたら目的に沿うことができるのか？を考え続けることである。

4. 困難な仕事こそ積極的に取り組み、高い価値判断基準を身につける

問題が見えるか否か？感度良好幹部か感度ゼロ幹部かの違いは、価値判断基準の高さに関係してくる。簡単な仕事のみやろうとする幹部は、自己の能力内のことしかやろうとしないので、価値判断基準も高まらず、問題にも気づかないことになる。組織全体が要請されていることを見極め、全体の中で、幹部として自分が何をなすべきかを明確につかむことである。

5. 「できない」「ムリだ」は禁句！

本来経営とは、限られたヒト・モノ・カネの資源を有効に活かし、いかに目的を達成するかにある。「できない」、「むずかしい」と決め込んだ瞬間から問題意識は失われてしまう。自ら壁をつくらないで「どうしたらできるか」の研ぎ澄まされた問題意識を持ち続けることである。

2002年5月24日

さいのう とおる

追伸：目標を100%以上クリアーするために、「問題意識を高め」努力と行動を継続すること。